

# わき

第133号 2023.11.1

議会だより

## 君たちは どう渡るか

中学校体育祭



和木町議会広報広聴常任委員会 E-mail : gikai@town.waki.lg.jp

- 下水道の緊急手当てに3600万円 …… p 2
- 一般質問 …… p 3～5
- 町の貯金が17億5900万円に …… p 6・7
- 瀬田地区で町づくり懇談会 …… p 8・9
- 関ヶ浜地区での要望へ回答 …… p 10・11
- インタビュー …… p 12

9月定例会

# 下水道の緊急手当てに3600万円

## 関ヶ浜で発生した下水道からの逆流に対する緊急対策としてマンホールポンプ設置工事9軒分

9月定例会は、9月8日から22日までの15日間の会期で開かれ、令和4年度一般会計・特別会計歳入歳出決算の認定、同意一件、諮問一件など、多数の議案を全会一致で可決しました。補正予算では、関ヶ浜地区での下水道から住宅への逆流に対して、緊急手当としてマンホールポンプ9軒分3600万円が組まれました。一般質問は6名の議員が登壇し、町政の様々な問題を議論しました。

### 補正予算

歳入は、令和4年度確定で個人住民税1200万円、普通交付税5345万円が増加し、繰越金が2億4885万円となり財政調整基金へ1億3441万円積みたてました。歳出では、関ヶ浜地区での下水問題に3600万円、町道改良工事に2247万円、河川整備に120万円、文化会館のカーペット張替えに165万円が計上されました。

#### \*環境整備事業

3600万円

#### 問

関ヶ浜地区での下水道要望に依る事業だが内容について伺う。(上田議員)

#### 答

下水道に雨水の浸入があり、トイレなどに支障が発生した9軒分の世帯に対し、マンホールポンプを設置する事業。

#### \*庁舎管理事業

95万円

#### 問

庁舎の屋外手すりの設置場所について



議会棟西側のスロープ

#### 伺う。(灰岡議員)

庁舎県道側のスロープ2ヶ所、中庭の真ん中から自動ドア前の傾斜部分、議会棟西側の

#### 答

傾斜部分、議会棟西側の

#### \*委託保育事業

270万円

#### 問

幼稚園、こども園施設型給付費の内容について伺う。(上田議員)

#### 答

新たに3名の児童が町外への委託保育が必要になった。

#### \*道路改良工事

2247万円

#### 問

道路改良事業の内容について伺う。(嘉屋議員)

#### 答

町道宮の下沖新開線転落防止柵塗装工事(延長470mの塗装工事)、町道与三野地大毛保線転落防止柵改良工事(延長90mの取替工事)、

### 臨時議会

8月4日に臨時議会が開催され、3件が審議されました。

●法人税還付金1億470万円

※本町に事業所のある法人が昨年度中の中間申告で前もって納めた税が、今年度の確定申告の結果で還付される金額。

●コミュニティセンター内の消火ポンプの設備更新工事564万円

●コミュニティセンター外壁改修工事8712万円

※財源は米空母艦載機部隊配備特別交付金。

議会は全会一致で可決しました。

## Q 上関町の使用済み核燃料の中間貯蔵施設への考えは

なかむら みつこ  
中村 充子 議員



町長 和木町に直接的な影響が出るとは考えていない

**質問** 上関町の使用済み核燃料の中間貯蔵施設建設調査内容についてどのように考えるか。

私も連日報道件については、同じ町政を預かる町長として注意深く見ている。報道発表以外の情報は持ち合わせてはいない。

**町長** 私も連日報道件については、同じ町政を預かる町長として注意深く見ている。報道発表以外の情報は持ち合わせてはいない。

和木町は上関町の周辺自治体でもなく、建設調査エリアから約50kmで、40km圏内でもない。現在のところ和木町に直接的な影響が出るとは考えていない。

上関町の町長のご決断に、コメントすることは差し控えさせていただく。これからも、周辺自治体、及び県国の動向を含め、注視して行きたい。

今後、和木町にとっても影響があるかもしれないとなった場合には迅速に対応して行きたい。

**\*産後ケアの状況は**

**質問** 産後ケアは各自治体の工夫が求められている。和木町はどのように工夫されるのか。

保健相談センターでは、保健師等の専門スタッフが妊娠・出産・育児に関する様々な相談に対応し、地域の保健医療福祉の関係機関との連絡調整を行うなど、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を一体的に提供している。妊娠期から出産や育児等に不安を抱える母親への支援として、保健師が妊娠届やアンケート、産婦健診票を用いて状況を把握し適切なサービスに繋ぐよう今後も働きかけていく。

**保健福祉課 課長** 保健相談センターでは、保健師等の専門スタッフが妊娠・出産・育児に関する様々な相談に対応し、地域の保健医療福祉の関係機関との連絡調整を行うなど、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を一体的に提供している。妊娠期から出産や育児等に不安を抱える母親への支援として、保健師が妊娠届やアンケート、産婦健診票を用いて状況を把握し適切なサービスに繋ぐよう今後も働きかけていく。



自治体の工夫が求められている産後ケア

## Q 雨天時にレインコートなどの着用を

かや とみひろ  
嘉屋 富公 議員



教育長 児童、保護者などの判断に委ねる

**質問** 雨天時に児童が傘をさして通学している。背中にランドセルを背負い、手には荷物を持ち、傘をさし両手が塞がり、転倒した際、危険な状態でレインコートなどの選択肢はできないか。

レインコートなどの着用を禁止したことはなく、天候に合わせて着用している児童も数名いて、各児童、保護者の判断に委ねている。

**教育長** レインコートなどの着用を禁止したことはなく、天候に合わせて着用している児童も数名いて、各児童、保護者の判断に委ねている。

**\*児童、生徒の交通指導は**

後設置の検討はできないか。

**教育長** レインコートなどは玄関で脱いだ後、水滴を払い、各学年の普通教室のとなり余裕教室があり、そこを利用し乾かしているの設置の検討はしない。

**質問** 雨天時に傘をさして自転車を片手運転したり、自転車で右側を通行するのを見かけるが、どのように指導しているのか。

自転車の通行方法は、道路交通法で定められている。私も「自転車は左側を通行しましょう」と声掛けをして注意喚起している。学校でもホームルームや特別活動の時間に繰り返し指導している。

**教育長** 自転車の通行方法は、道路交通法で定められている。私も「自転車は左側を通行しましょう」と声掛けをして注意喚起している。学校でもホームルームや特別活動の時間に繰り返し指導している。



# 6 補聴器購入の補助金を 全ての年齢に

うえだ じょうじ  
上田 文二 議員



保健福祉課長 国、県の動向を注視し、可否を検討していく



コミュニケーションを  
取りやすくなる補聴器

**質問** 聴覚に支障がある  
と社会生活のコミュニケー  
ション、学業、就労また高  
齢者の認知症予防の観  
点からも軽度、中等度  
難聴者に対する補聴器  
購入の補助の対象を全  
ての年齢に拡大するこ  
とができないか。

**課長** 財源的に厳し  
いことや、正当  
性の担保のために、補  
装具の支給制度になら  
ない医師の選定及び確保  
が必要である。補聴器  
補助の必要性は、今後  
さらに高まることか  
ら、近隣市町や国、県  
との動向を注視しなが  
ら、事業展開の可否を  
検討していく。

**\*難聴検査実施は**

**質問** 町で行ってい  
る健診で難聴検  
査の実施はできないか。

**課長** 町で実施する  
予定はない。医  
療機関で受診するなど  
個人で対応していただ  
きたい。

**\*新生児聴覚検査  
費用の補助金は**

**質問** 新生児への子  
育て支援として、  
新生児聴覚検査費用の  
助成を検討できない  
か。

**課長** 近隣市町の動  
向を見つつ、総  
合的な子ども子育て施  
策を考える中で、検討  
したい。

# 6 給食センターの基本構想は できたのか

もりわき あけみ  
森脇 明美 議員



教育委員会事務局 本年8月策定した

**質問** 基本構想の進  
捗状況と内容を  
伺う。

**事務局** 基本方針を「わ  
きつこの健やか  
な成長のために、安心・  
安全な給食の提供と持続  
可能な給食センターを整  
備する」とことと定めた。  
現状規模の900食を  
提供し、ドライ方式を採  
用、必要敷地面積2千平  
方メートル以上として、  
食物アレルギー対応とす  
る。

**質問** 給食センター  
は何年計画で取  
り組むのか。

**事務局** 7年計画で、令  
和6年度は整備  
基本計画の策定、7年度  
に整備基本計画の公表及  
び建設場所の公表、9年  
度は建設工事に着手し、  
10年度に新給食センター  
竣工、供用開始の予定。

**質問** 運営方法は決  
まったのか。

**事務局** 公設民営、公  
設公営方式など  
他の自治体の事例を参考



建て替えが待たれる給食センター

**\*庁舎の改修、  
建て替えは**

**質問** 平成26年に作  
成された庁舎リ  
ニューアル計画はなぜ実  
行されなかったか。

**企画総務課長** 7億円を超え  
る試算だったた  
め、計画全体としての事  
業着手を見送った。

**質問** 庁舎の建て替  
えは考えている  
のか。

**町長** 随分と多額な  
ものになり、課  
題としてまずは給食セン  
ターの建て替え事業に取  
り組むため、現在は考え  
ていない。

# Q 幼稚園・保育所跡地の利用をどう考える

はいおか ひろみ  
灰岡 裕美 議員



町長 優先順位は高くないので慎重に検討する

**質問** 前回の質問時に、跡地利用に関するPRE（公的不動産）検討委員会が6回開催されたと聞いた。その後の開催状況を聞く。

**都市建設課長** 新型コロナウイルスの拡大により、令和3年2月以降休止している。同様にワーキンググループの活動及びサウンドイング調査も実施していない。

しかし、休止期間中も情報収集は続けている。



5年間放置されている幼稚園

**質問** どのような情報収集か。

**課長** ウェルネスキャンペーン事業の報告会を開催した。

**質問** 内容を聞く。

**課長** スポーツを通じて子ども達に通

場合は、基本的な運動能力を高める教室を行ったり、一般の場合は、健康の維持、増進などに対するセミナーなどを実施するということのもの。

**質問** 跡地利用とウエルネスキャンプはどう結びつくのか。

**課長** 旧幼稚園の跡地を利用して、セミナーや運動教室を行う施設ができないかという民間からの提案を受けたもの。

**質問** コロナがこの春5類感染症となり、いよいよアフターコロナの時期に入った。跡地利用に対する町長の考えを聞く。

**町長** 日々変わっていく社会情勢の中で、跡地利用の優先順位は高くない。経費や固定資産税がかかるわけでもないで、慎重に考えていきたい。

ただし、建物が老朽化し保育所もひどい状態になっているので早急に手を打たないといけないと思っている。

# Q 町営住宅の今後は

こばやし ひでよし  
小林 秀嘉 議員



都市建設課長 長寿命計画に基づき整備改修を行っていく

**質問** 和木町の各住宅団地はどのようになっているか。

**課長** 現在10団地329戸の町営住宅を管理している。昨年度改定した和木町営住宅長寿命化計画に基づいて住宅の整備及び維持管理していく。

**質問** 新しい緑ヶ丘はどのようになっているか。

**課長** 3棟あり、現在1戸空き住宅がある。

**質問** 瀬田の旭ヶ丘団地はどのようになっているか。

**課長** 27戸あり、現在入居戸数は8戸となっている。この団地は老朽化しており、入居者募集は行っていない。

**質問** 瀬田坂根団地は。

**課長** 坂根団地は36戸あり、現在32戸入居している。現在随時募集中である。

**質問** 坂根団地は何年経っているか。

**課長** 第1棟は築後34年、第2、3棟は32年経っている。

**質問** 高齢者用の用件団地はいかがか。

**課長** 用件団地は8戸あり、空きはない。入居者基準については、町営住宅入居資格を有し、かつ60才以上の単身者や、同居者については60才以上の配偶者や60才以上の親族であることなどが基準となっている。

**質問** 和木1丁目の宮の下団地は。

**課長** 入居者戸数は3戸となっている。募集はしていない。

**質問** 山の手団地は。

**課長** 全戸数は5棟63戸となっている。現在空き戸数はないので、募集は行っていない。町営住宅の長寿命化計画に基づき、整備、改修を行っていく。

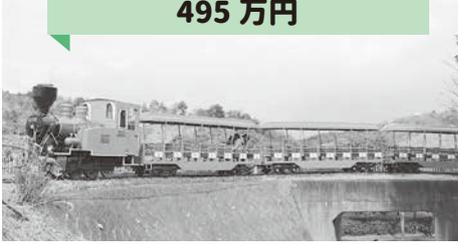
**質問** 和木2丁目の団地は。

**課長** 和木中央第1団地は8戸あり、2戸入居している。中央第2団地は12戸あり、5戸入居となっている。両団地とも耐震性に問題あり募集を行っていない。

# 歳出44億1520万円

## 米空母艦載機部隊整備特別交付金 2億4980万円の主な使い道は

### 蜂ヶ峯公園ミニSL整備 495万円



- コミュニティセンター外壁調査・改修設計業務 726万円
- コミュニティセンター空調機更新工事 2420万円



### 公共施設の整備管理事業 1億1625万円

- 中学校外壁調査・改修設計業務 363万円



- 文化会館空調制御装置更新工事設計業務 257万円
- 文化会館照明設備改修工事 5280万円
- 文化会館空調設備改修工事 2079万円



使用料及び手数料 2.9% 繰入金 1.3% 繰越金 5.9%

住宅使用料・保育利用料など

基金から繰り入れるお金

前年度から繰り越したお金

使い道を特定して国・県が支出する補助金など

延滞金・貸付金の回収金・ふるさと納税寄附金など

自治体の財政力格差を調整するために、国から交付されるお金

町債 2.2%

借り入れするお金

地方譲与税等 5.2%

国税として徴収し一定基準により町に譲与されるお金など



歳入  
46億8628万円

町民税・固定資産税  
軽自動車税・たばこ税など

その他 0.7%

議会費 1.8%

消防費 3.7%

消防団活動、消防施設整備など

衛生費 5.1%

予防接種・健康増進、ごみ処理事業など

町が借り入れたお金の返済

道路・公園・住宅整備など



学校・文化会館・図書館・公民館事業など

高齢者・児童・障がい者福祉事業、こども園など

交通安全・和木駅管理・コミュニティバス運行事業など

# 歳入46億8620万円

## 財政調整基金(町の貯金)が3億5300万円増で17億5900万円に

コロナ禍による各事業の減少で、前年度からの繰越金2億7800万円。法人税の伸び3億700万円などが基金増の主要因。町の借金である地方債残高は、3億9200万円減で50億7200万円となり、将来負担比率\*は前年度32.7%から2.5%と良好になった。

※ 現在抱えている町の負債の大きさが、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す指数。

**Q** マイクロバス運転委託料が予算より94万円減額になっている理由は。

**A** 利用回数が予定よりも少なかったから。平成30年度(コロナ前)年間108件、令和4年度年間42件。

**Q** 家庭用防犯カメラ設置費補助金56万円における現在の設置数と目標数は。

**A** 平成28年から令和5年9月11日現在まで、設置世帯数は69世帯である。令和4年12月の段階で目標の60世帯を達成済み。

**Q** ふるさと納税事業の新たな返礼品や特産品の開発はどうするのか。

**A** 地域振興協会においては特産品開発事業を継続してもらい、ふるさと納税の地場産基準に適合する場合においては、協議のうえ登録を行う。

**Q** 町制施行50周年記念事業委託料200万円の内訳は。

**A** 令和4年11月15日から令和6年3月31日にかけて①記念式典の企画・運営②祝賀会の企画・運営サポート③記念事業実施計

画の策定④プロモーション事業の実施 インスタグラム、からくり文字、竹あかりアート⑤記念グッズの提案・作成⑥検討委員会、WG会議の運営支援を行う。

**Q** デジタルデバйд対策講習会開催委託料7万円の委託内容と実績は。

**A** 高齢者を対象にスマートフォンを使い方などについて講習会を委託した。参加者は令和4年8月(5人)、10月(5人)、2月(6人)であった。

**Q** 成年後見制度利用支援事業の内容は。

**A** 成年後見制度とは認知症や知的障害等により、物事を判断する能力が十分でない方について、本人の権利を守る援助者(成年後見人)を選ぶことで、本人を法律的に支援する制度。和木町成年後見支援センターで、成年後見制度の申立て手続きや書類の作成方法などの相談などを行っている。

**Q** 放課後児童クラブ事業1550万円での職員数と小学生の利用状況。

**A** 令和4年4月1日時点の職員数は6人、登録児童数は102人。年間平均平日は約63人、土曜日は約7人が利用している。

**Q** 和木町子育て給付金事業1202万円の内容と利用人数は。

**A** この事業はコロナ禍で物価高騰に直面する子育て世帯を支援するため、高校生以下の児童すべてに所得制限なしで一律1万円を支給した。利用人数は630世帯1181人。

**Q** 山林意向調査と森林環境譲与税基金積立金の計画は。

**A** 意向調査の結果「管理を委託したい」との意向のあった山林については、詳細調査を実施し、令和7年度から優先順位をつけ森林整備に取り掛かっていく予定。

**Q** 和木町地域振興協会補助金720万円、和木町にぎわい創造事業補助金200万円の内容は。

**A** 前者は事務所の運営費と和木チャンネルの

番組作成、特産品開発、町のPR事業等、実施主体が町から地域振興協会へ移行した事業に充てている。後者は蜂ヶ峯公園で行われたイベントに充てている。

**Q** 文化振興事業補助金71万円、文化会館主催事業委託料66万円の内容は。

**A** 前者は、KIDS芸能祭(フォトコンサート)、WAKIコンサート、町美展。後者はおんぶらんと&エデュパーク(大道芸・サイエンスショー)。



様々なイベントが開催される文化会館



- ① 町内のバス停に日よけと椅子の設置をして欲しい。
- ② 瀬田地区で散歩するのにトイレが少ないので設置をして欲しい。
- ③ 坂根団地の公園と集会所に草が生えており整備を

お願いしたい。

- ④ あいあいバスの大和橋や図書館に停留所を設置して、時刻表を貼って利用しやすくして欲しい。
- ⑤ 瀬田地区の最終便が無くなり学生が困っているの、元の時間に戻してほしい。
- ⑥ 高齢者が免許返納後に移動するための交通手段を充実して欲しい。
- ⑦ 坂根川上流の堰堤の点検補修をして欲しい。
- ⑧ 猿、猪などが出現した時の対応方法を教えて欲しい。
- ⑨ 新人職員には町内を見て廻り歴史や地域の状態を知って欲しい。
- ⑩ 和木町の歴史を学校教育（小学校）で教えて欲しい。



- ① 瀬田川の日本製紙側に護岸工事が進められている。津波対策について自治会との話し合いができるようにして欲しい。
- ② 日本製紙倉庫横のふれあい通りの舗装整備を要望する。
- ③ 三分一源之丞碑は個人の所有だと聞いているが、草木の管理を町でできないか。
- ④ 瀬田口の下水道ポンプ場内が草木や落ち葉で汚れている。公衆トイレもあるのできれいにして欲しい。
- ⑤ ISO9001は現在更新されているのか。品質方針について意識、対応はどうなっているのか。
- ⑥ 老人クラブへの入会者が減少している。5年後に

は老人クラブの平均年齢が85歳をこえるので活動が限定化されてしまう。対策について伺う。

- ⑦ 個人の清掃ボランティアに対して活動中と分かるように帽子を配布できないか。
- ⑧ 坂根児童公園と坂根団地公園に草が生い茂っている。町が清掃してくれないか。
- ⑨ 高齢者避難支援制度が始まったが、避難対象者が年々増加している。年1回の対応では遅すぎないか。
- ⑩ わきあいあいバスの最終便が早くなったが、生徒の利用も多いので元の時刻に戻して欲しい。
- ⑪ 蜂ヶ峯公園の見晴し台を山に戻すということだが、元のように整備して使用させて欲しい。
- ⑫ 庁舎、上下水道とも建設50年を迎える。今後の財政運営をどう考えているのか。
- ⑬ 敬老金は廃止しても良いのではないか。
- ⑭ 蜂ヶ峯から和木地区へと通る災害道路の建設はどうなっているのか。

# 議会町づくり懇談会

瀬田地区で  
開催

～ 地域の課題が浮き彫りに ～

公共交通や高齢化問題を中心に幅広い議論

議会は町づくり懇談会を9月30日(土)瀬田地区で開催しました。

懇談会では、主に、公共交通のわきあいあいバス最終便について、高齢者避難についてなど、さまざまな要望や意見が出されました。今後、議会は問題を解決できるよう取り組んで参ります。

なお、次回は、11月25日(土)(予備日:12月9日)に和木美術館で開催予定です。

※議会町づくり懇談会は、議会と住民が共に町づくりについて話し合い、地域の課題や問題点を一緒に考えていく場です。

01



- ① つつじヶ丘団地小学生のバス通学を登校時にも利用できないか。
- ② 日本製紙の工場建物が老朽化しており、危険性が高まっている。状況の確認をして欲しい。
- ③ 瀬田線あいあいバスの最終便19時台の復活をして欲しい。
- ④ 瀬田2丁目の竹林伐採後に植えたくぬ木が葛のつたで覆われているので除去して欲しい。
- ⑤ ふれあい通り沿は雨量が多いと冠水する。瀬田川の浚渫など対策をして欲しい。
- ⑥ 蜂ヶ峯公園のキャンプ場の整備または利用を考えて欲しい。
- ⑦ 大和橋から町役場までの街路樹(ヤマモモの木)が枯れている。整備、植替をして欲しい。
- ⑧ 蜂ヶ峯団地内の道路に雑草が茂り自治会だけでは対応できない。町で対応できないか。
- ⑨ 瀬田地区の道路の痛みが激しいので、状況確認と整備及び職員、議員の巡視をして欲しい。
- ⑩ 引き込み線の跡地利用の現在の状況と話し合いの前進をお願いしたい。
- ⑪ 和木町が合併しなかったことが良かったのか検証しているのか伺う。
- ⑫ 蜂ヶ峯公園Bee+には子どもが遊べる遊具が少ない。子育て世帯の意見を取り上げ充実を図って欲しい。
- ⑬ 日本製紙裏の道路が狭く救急車などが入れない道路の拡張の検討ができないか。
- ⑭ 瀬田地区の桜並木がツタで覆われている。急斜面では雑木も多く整備を要望できないか。
- ⑮ 坂根団地の公園の草刈が自治体では難しい。子どもたちの遊び場所の確保のためにも解決策の検討を要望する。
- ⑯ 瀬田川にヌートリアが生息している。捕獲機の設置をして欲しい。

# 懇談会を終えて



## 関ヶ浜地区での要望・課題を審議する

### 総務文教常任委員会

#### \* 通学路の安全確保

**問** 小学校児童の安全を考えれば、**答** 又通学はできないか。県道の交通量の多さや昨今の猛暑を考えると安全と言えない。

**答** 通学路安全推進会議でもバスの通学が必要という見解・意見はない。登下校は学校管理下で、通学方法は学校が決定し、また法律で通学距離や時間の基準が示され、該当しない。



交通量が増えた県道北中山岩国線

#### \* 子供たちのボール遊びの場

**問** 子供たちのボール遊びの場所がない。緑ヶ丘の町営住宅地付近に確保できないか。

**答** 既存住宅の入居者が全て転出後に解体を予定しているが、跡地利用の計画は現在ない。駐車場や緑ヶ丘団地の公園整備は必要と考えるが、ボール遊びが可能かはわからない。

#### \* 災害時の避難態勢 / Wi-Fi 設置 / 自動販売機

**問** 災害発生時の恐れがあり、「警戒レベル3 高齢者等の避難」が発令された場合、早朝深夜に関わらず避難所への送迎を町はできるか。

**答** 避難情報の発令が深夜に及んでも、避難支援の要請があれば、公用車により要請者住宅から避難所まで送迎を行っている。

**問** 関ヶ浜分館に災害時対応で Wi-Fi 設置の要望がある。現在、町内で Wi-Fi の利用できる施設はどこか。

**答** コミュニティセンター各階に1つ、役場庁舎、保健相談センター、和木駅、蜂ヶ峯公園の7箇所。関ヶ浜分館は携帯電話の通信エリア内に位置しており、インターネットでの情報収集が可能であり、Wi-Fi 設置の需要はあっても行政サービスとしての必要性はないと考える。

**問** 関ヶ浜分館に災害時対応の自動販売機は設置できないか。現在、町内に緊急時の支援販売機はあるのか。



災害時支援自動販売機

**答** 支援販売機は庁舎内や蜂ヶ峯公園など5箇所を設置されている。支援販売機は避難勧告や避難指示が発令された場合、町と会社の協議で飲み物が無償提供されるシステムだが、緊急時には分館の水道や町から飲料水の供給がなされる。現況では自動販売機の必要度は高くないと判断する。

#### \* 地域の活性化は

**問** 関ヶ浜地区の今後を見据えた地域の活性化をどう考えているか。

**答** 町内全域で少子高齢化と地域の過疎化が急速に進み、集落機能の存続と地域活力の低下が危惧される。高齢化対策や空き家対策など、住民への情報提供と町施策の継続が必要と考える。

**問** 体育センターの卓球台の買い換えを要望。  
**答** 来年度に数台の買い換えを予算要求する。



損傷が激しい卓球台

**問** 分館裏の山側の土砂が排水溝に流れ込む。  
**答** 12月末に山側に砂止めを施し、排水溝内に排水設備を設ける。

### その他の質疑

**問** 体育センターは補修工事の必要箇所が多いが、今後の対応は。(上田委員)

**答** 利用者への安全を考慮し、危険性のある箇所から修繕する。改修又は建替えは財源問題などを考慮し、長期的展望で検討していく。

## 民生建設常任委員会

### \* 関ヶ浜川の整備

**問** 自治会は年2回の一斉清掃時に、関ヶ浜川の掃除を行っているが、川に降りる階段が少なく増やして欲しい。また支流の川床整備も必要。

**答** 階段設置は県岩国土木事務所に要望を伝達。支流の川床は流れを阻害せず現状のまま理解いただきたい。

**問** 定期的に関ヶ浜川の浚渫工事ができないか。

**答** 令和5年度に県は浚渫事業に1500万円の予算を組み予定している。

**問** 町内の一時停止「止まれ」の路面表示が消えかかり、早急に対策が必要ではないか。

**答** 公安委員会に対応を要望する。

### \* 急傾斜地の整備管理が困難

**問** 住民の高齢化が進み、急傾斜地の竹や雑草が整備できなくなっているが、急傾斜地はどこが管理し整備するのか。

**答** 通常の維持管理である伐採や除草、水路清掃は関係する地権者、住民が行うことになっている。整備は住民の要望を町が聞き、県に要望し事業を実施してもらう。



雑草の整備がむずかしい急傾斜地

### \* 県道北中山岩国線及び県道岩国大竹線の整備事業は

**問** 県道の地藏堂から日本製紙付近にかけ木々が覆いかぶさり、横断歩道の標識が見えず、街灯も暗い。通行が危険で対応が必要だ。

**答** 交通標識は公安委員会に報告し、木々の整備は山口県に対応を要望する。

**問** 県道が狭くなり大型車が多く危険で、歩道の縁石も低い。拡張工事は進んでいるのか。

**答** 県は今年度、道路改良事業として用地測量、設計に5千万円予算を入れている。

**問** 関ヶ浜バイパスから両国橋への道が狭く、トラックが和木を通過する。両国橋への道路改良はできるのか。

**答** 県は今年度、道路改良事業として、設計に2千万円予算化している。

### \* 空き家対策が必要では

**問** 関ヶ浜地区では空き家が目立ち始め、そこに鳥獣が住み着き衛生面で問題だ。防災面でも地域住民に深刻な影響を及ぼし対策が必要ではないか。

**答** 町では空き家戸数や空き家率を把握しておらず、相談件数も2件と少なく、空き家バンク制度の登録もない。他の事業に優先する事業とは考えていない。

**問** 空き家の解体費用やリフォーム事業の助成など、「空き家条例」を作り対策をするべきでは。

**答** 町は現時点では条例化の必要も、解体費用への町単独での補助金も考えていない。

### \* 関ヶ浜1丁目地区の下水・雨水の整備問題

**問** 以前より問題となっていた下水への雨水浸入問題だが、経緯と状況は。

**答** 平成24年度から28年度にかけて400万円で送煙調査・カメラ調査を実施し、管渠及びマンホールとの継ぎ目から雨水の浸入が判明。平成31年度に管渠更生工事を2千万円で実施。

**問** 今後の大雨の対策は。

**答** 補助事業で改築工事を進めていく。

**問** 小瀬川遊歩道に安全・防犯面を考え防犯灯の設置を検討できないか。(嘉屋委員)

**答** 遊歩道の照明は設置の検討を行っているが、河川管理者の許可も必要で、財源も含め考えていく。

**問** 和木町地域活動支援センターでは、「ふれあい工房クローバー」がパンの製造・販売を行っている。運営状況と本来の役割を考えれば和木地区への移転も必要では。(兼本委員)

**答** 現在、障がい者2名と支援員2名が運営し、見守りパンやイベント時や社協での定期販売を行っている。役割は、障がい者の日中の居場所づくりや地域社会との交流を促進することだが、和木地区への移転は考えていない。



パン作りを行っているふれあい工房クローバー

# 中学校体育祭を終えて

- ①担当して大変だったところは？
- ②全体的な感想は

## 富岡 海有さん

(記録係・3年生)

- ①勝敗に大きく影響する係なので、責任があり大変でした。
- ②初めての係活動でしたが、皆でまとまってきたので良かったです。



## 灰岡 美咲さん

(演技係・3年生)

- ①判定の仕事は得点に繋がるので、日差しが強い中、グラウンドに出ても、一つ一つのこと集中しながら係をすることです。
- ②皆一生懸命にそれぞれの仕事をしていたので、体育祭をとってもいい雰囲気になったと思います。

## 竹内 美仁依さん

(執行部・3年生)

- ①自分の動きだけを考えてしまうと全体の動きが分からないので、自分のことをしながら、全体のことも考えるのが大変でした。
- ②練習中には大変なことが多かったですが、本番では、全員で練習の成果を出すことができたのでとてもやりがいがありました。



## 茶屋 穂乃香さん

(応援団・3年生)

- ①何もない状態から演舞を考え、全体をまとめることです。
- ②練習を重ねるにつれて演舞のレベルが上がっていき、完成度が高くなりました。



## 神田 千亜希さん

(放送係・3年生)

- ①放送係には初心者もあり、機材の使い方を教えたり、発音の仕方、話すスピードなどのアドバイスを伝えたりしたことです。
- ②放送で体育祭を盛り上げることができて良かったです。

## 齋藤 啓太さん

(準備係・3年生)

- ①準備物の細かな配置場所を覚えるのが予想以上に大変でした。
- ②皆よくテキパキと動いてくれて素早くできていたと思います。



## 桑原 仁さん

(招集係・3年生)

- ①体育祭を予定通り進めるために、次の競技に出る人を早く集めて静かに待って貰うことです。
- ②早く集まってくれました。静かにしてくれるように呼びかけました。



## 齋藤 大介さん

(会場係・3年生)

- ①皆で協力してテントを組み立てたり、運んだりすることや、皆をまとめることが大変でした。
- ②皆で建てたテントが使われていて達成感がありました。



発行責任者  
議長 兼 本 信 昌

広報広聴委員長  
森 脇 明 美

広報部  
上田 丈二 中村 充子  
明本 光弘 三分一 淳

猛暑、残暑もいつの日か過ぎ、肌寒い季節を迎えました。▼今年度は、和木町制施行50周年おめでとうございます。▼50年前、私は小学校6年生でした。村から町に変わり、都会になったなあという思いを抱くと共に、住所の書き間違いに苦労した思い出があります。▼さて、瀬田口大谷線のセンターラインなどの引換え工事、役場庁舎への手すり取付け工事、関ヶ浜1丁目地区の下水道の逆流防止工事。これらは、町民の皆様が議員に届けて下さった要望を、議会から町行政に伝え、叶った事業です。特に関ヶ浜の下水道問題は、長年悩まれてきた問題を解決するに至る大きな一歩でした。▼町民の皆様の声を聴き、行政に届けることは、議員の大きな使命であり、皆様に喜んでいただけることは、議員にとっても大きな喜びです。▼これから和木地区もまちづくり懇談会を行いますので、多くの方々にご参加いただき、住み良いまちづくりのお手伝いをさせていただきます。と思います。

(明本 光弘)

編集後記